

だての郷通信



あぶくま福祉会

ひびき 令和5年3月号

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 生活介護事業所 **だての郷**

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 TEL024-576-7799 FAX024-576-7815

3月の主な行事

- 3月 6日(月)～9日(木) ミニドライブ週間
- 11日(土) 土曜利用日
- 13日(月) 内科健診
- 15日(水) 報奨金支給
- 16日(木) ジュース購入日
- 23日(木) 誕生会

3月生まれの皆さん

お誕生日おめでとうございます

三浦沙紀さん 菅野隆仁さん
おめでとうございます！3月23日に誕生会を行います。お楽しみに。

鬼をはらって運開く！



密を避け、玄関と作業室に分かれて鬼を退治しました

2月3日(金) 10時30分から雪もなく穏やかな天候の中、豆まきを楽しみました。はじめに中木施設長から節分に豆まきをする由来や、毎年節分の日にしし竹さんからお寿司を提供して頂けることへ感謝しましょうとお話をいただきました。

そのあと豆まきを行いました。今年は利用者6名、職員2名の鬼役さんが大活躍していただいたおかげで大変盛り上がった豆まき会となりました。玄関先、作業室前に現れた鬼に紙を丸めて作った豆を「おにはーそとー」と元気な声で沢山投げて見事に8名の鬼をやっつけることが出来ました。



節分のお菓子チョココーンをいただく利用者さんたち

豆まきを終えたあと、悪い鬼を退治して「今年も良い一年でありますように」と願い込め、利用者さんたちはチョココーンを美味しく食べて楽しく過ごしました。

第2部はお昼の給食の時間に合わせてすし竹さんから頂いたお寿司会食タイムです。いつもの給食と同じ時間配分で、密にならないよう利用者さんたちが時間差をつけていただきました。一斉に喫食できませんでしたが、節分に合わせてお寿司をいただくことができ、利用者さんたちは大変喜んでいました。



お寿司の配膳を待つ利用者さんたち



美味しそうにお寿司をいただく利用者さんたち



お持ち帰り専門 すし竹様からお寿司寄贈受ける



鈴木店長さんからお寿司を受け取る両施設利用者代表さんたち

2月3日の節分の集いに合わせて、今年もお寿司のテイクアウトで人気があるすし竹様から、節分のお寿司のご寄付をいただきました。

当日は、だての郷ロビーで贈呈式が行われ、ほどはら授産所から利用者代表の佐藤利彦さんと佐藤瞬さん、だての郷から利用者代表の八巻研二さん、尾崎隆信さん、浅野恵美さんと鈴木芳彦さんが出席し、赤橋店店長の鈴木敦さんからお寿司の贈呈がありました。式の中で中木統括施設長から御礼のことばを申し上げました。毎年ご寄付いただいておりますこと、この紙面を借りすし竹様に厚く御礼を申し上げます。

だての郷 令和4年度のあゆみ



だての郷 管理者 高橋 健二

令和4年度も3月を残すのみとなりました。今年度は11月に職員と利用者にも新型コロナウイルス感染者が複数出て施設閉鎖を余儀なくされたことがあり、その際は皆さまに大変ご迷惑をおかけしました。しかしながら一年をとおしてみると、いつも多くの利用者の方は、元気に笑顔でだての郷を利用していただけたと感じております。これはご家族の方のご支援があったからこそでご家族の皆様にも心から感謝申し上げます。

昨年同様に制約の多い中ではありましたが、外食体験や梨狩り体験といった施設を出た活動ができたこと、個別送迎の対象者を増やせたことは何よりでした。また1月から2月にかけて対面での個別面談を実施し、ご本人様の家庭での様子やご家族様の意向等を日々直に聞く機会を持つことができ、活動全般においてコロナ禍前の状況に戻せつつあることを実感した1年でした。

今後共、ご本人様とご家族様の声を聞き、コミュニケーションを大切に、職員一丸となってより良いサービス提供を行なってまいりますので、よろしくお願いいたします。

次のページでは、支援各班のこの1年を振り返り、担当支援員より報告いたしますので、ご覧ください。

クローバー班 レインボー班 この一年の活動を振り返って



クローバー班

渡辺正秋さん 鈴木康展さん 佐藤 潤さん 佐藤 実さん
 尾崎隆信さん 八巻研二さん 佐藤信也さん 斎藤幸大さん
 谷津貴之さん 菊地晴美さん 渡邊祥江さん 山口美保さん
 浅野恵美さん



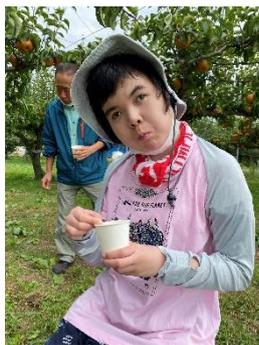
今年でコロナ禍となり3年が経ちます。コロナ感染者数もだいぶ落ち着いてきましたが、例年通りの行事は感染拡大の恐れがあり実施できず、日帰り・一泊旅行やあぶくま祭りなどの行事が中止になってしまいました。その代わりにではありませんが、9月に果物狩り体験として梨狩りに行き、大きく瑞々しい梨を食べお土産に持ち帰っていただきました。また2月には「にこにこフェスティバル 2023 春」として毎月実施しているダンス教室や発表の様子の撮影や、サイコロゲームやバトン渡しなどのレクリエーションを実施しました。

クローバー班のみなさんは、とても元気で毎日の歩行や部品の分解や仕分け作業を行ったり、パズルやDVD鑑賞などの余暇活動にも積極的に取り組んでいただいています。今後もみなさんがいろいろな行事や活動に安心・安全に取り組んでいただけるよう、職員全員で支援を行います。来年度もよろしくお願いいたします。



レインボー班

鈴木芳彦さん 本間正志さん 後藤 勝さん 井田裕矢さん
 二瓶 学さん 菅野隆仁さん 岡崎雄一さん 萩原良一さん
 佐藤晋也さん 原 啓さん 大槻美里さん 井上美和さん
 枝並牧穂さん 三浦沙紀さん



毎日の歩行では積極的に参加され、頑張り屋さんがたくさんいらっしゃいました。ミニドライブではいろいろな場所へ出かけ、季節の変化を感じながら景色を味わったり、ダンス練習は秋ごろから毎日昼休みに行い、いつもの年より振付が完璧でしたね！まだまだコロナ禍が続いて行事が制限される状況ではありますが、感染予防に努めながら毎日安全に楽しく活動していければと思います。

来年度もみなさんが笑顔で実りある毎日を過ごしていただけるよう、職員一丸となって支援させていただきます。今後ともよろしく願いいたします。

にこにこフェスティバル2023 春 にぎやかに開く！



どきどきサイコロゲームを楽しむ利用者さん



午前の部お楽しみ会ではワッフルをいただきました



白熱したピンポン玉移しゲーム



バトン渡しゲームを楽しむ利用者さん



ゲームの後はドリンクタイム、みんなでサイダーを飲みました

2月22日、昨年に引き続き「にこにこフェスティバル 2023 春」を開きました。今年は午前と午後の部に分かれ、午前の部は、2月誕生会の該当者がいないので、誕生会代替行事として「お楽しみ会」を行い、みんなで美味しい「クリームワッフル」に舌鼓を打ちました。

午後の部はメイン行事「にこフェス 2023 春」のスタートです。

ラジオ体操と「あぶくま福祉会の歌」を歌った後、初めにダンス発表を行いました。利用者さんたちは元気に楽しく、一生懸命踊りました。当初保護者の皆様の披露予定でしたが、コロナによる施設閉鎖等の諸事情で日程が取れず、予定されていた発表が難しく、今回ダンスを動画撮影し後日当法人のホームページで見えていただくことにしました。是非ホームページをご覧ください。

続いてメインのプログラム「どきどきサイコロゲーム」「ピンポン玉移しゲーム」「バトン渡しゲーム」の3つのゲームを、ワイワイ楽しく行いました。利用者さんは皆さん非常にテンションも高く、時に予想外の展開になることもありました。それもまた爆笑を呼び、笑顔が絶えない1時間でした。最後は元気に遊んだ後の水分補給でドリンクタイム。シュワシュワのドリンクで喉を潤してお開きとなりました。

帰りの会に合わせて、皆さんに「頑張ったで賞」の景品を施設長からお渡ししました。

次々に襲い来る新型コロナの影響で行事を開催するのが難しい情勢ではありますが、これからも利用者さんに楽しんでいただける範囲でイベントを企画、実行していくことにしています。



花粉シーズン到来 食の観点から予防対策を探る



株式会社メフォス福島第一事業部
福島支店第2課係長 佐藤 久美

冬の厳しい寒さもひと段落し、春の訪れを感じる季節になってきました。気分も軽くなって体を動かしたくなる時期ですね。一方で花粉症の方にとっては憂鬱なシーズンの始まりですね。日本では約60種類の植物の花粉により、花粉症を引き起こすと報告されています。

～花粉症の原因～

- 1 戦後、大量に植林された杉が成長し、花粉を大量に放出しているから。
- 2 気密性の高い住宅に入ってしまった花粉が外に出られず蓄積する、道路が舗装され、車の通行や排気ガスなどで花粉が舞い上がりやすくなっている。
- 3 不規則な生活リズムが自律神経を乱し、免疫機能の低下を招きアレルギー反応を起こしやすくなる。



花粉から身を守る

「吸い込まない」「寄せ付けない」「持ち込まない」が大事です。

花粉症を発症していない人も油断は禁物です。

花粉などのアレルゲンに対する許容量には個人差があります。数年から数十年間、アレルゲンが蓄積され許容量を超えると防御反応として花粉症などのアレルギー症状が起きます。今、発症していない人も、花粉症を発症する可能性があります。

症状を悪化させないために免疫力を高めましょう。



免疫力アップが期待できる食べ物として、肉・魚・卵・大豆製品・乳製品などの良質なたんぱく質。緑茶・ココア・赤ワイン・そば・野菜・果物に含まれるポリフェノール（抗酸化物質）。緑黄色野菜のビタミン類。きのこ等の食物繊維。納豆・漬物・ヨーグルト・みそ・しょうゆ等の発酵食品（腸内環境を整える）があります。いずれもバランス良く摂取する事が大事です。食べ物以外では十分な睡眠と適度な運動、ストレスを溜めない事も大切です。

免疫力をアップし、これからの活動的なシーズンに備えましょう。

一年間コラムをお読みいただき、ありがとうございました。皆様のお昼の給食の時間に美味しいメニューをお出しできるよう努めますので、どうぞよろしくご依頼申し上げます。

すし竹赤橋店様へ 御礼に伺う



すし竹さんに御礼メッセージをお届けした利用者代表の鈴木さん(前列左)と佐藤さん(右)

2月20日、ほどはら授産所の佐藤静香さんと、だての郷の鈴木芳彦さんが担当職員と一緒に、節分の際、施設へお寿司のご寄付をいただいた有限会社すし竹赤橋店へ、御礼に伺いました。

社長の大竹進二さん(写真後列左)と赤橋店店長 鈴木 敦さんに、吉田理事長のお礼状と、両施設の利用者さんが作った御礼のメッセージプレート、お寿司を美味しくいただいている写真をお渡ししました。大竹社長さんからは「皆様からの感謝のことばありがとうございました。来年もお届けしますので、楽しみにお待ちください」と御礼のことばをいただきました。

改めてご寄付に感謝申し上げます。

人権擁護・虐待防止を 目的に研修会開く



石井先生のお話を真剣に聞く職員の皆さん

2月6日、法人職員を対象に「人権擁護虐待防止研修」をほどはら授産所で開きました。利用者様の人権を守り、支援中における虐待を防止するための職員の規範意識向上をねらいに、ふくしま基幹相談支援センター主任相談支援専門員 石井 豪氏を講師に招き、講義とグループ討議を行いました。

講義では、資料を基に虐待事案のお話を聞きました。グループ討議では、実際に支援を行っていて問題点を話し合い、テーマを決めて短い時間ではありましたが、人権を守る意識を高めていました。

研修の中で「身体拘束」について、虐待との線引きをする基準等、石井氏から具体的なお話を聞くことができました。

当法人4事業所の職員20名が参加し、利用者様の人権を守る意識を深めました。

個別面談行う



利用者さんの家庭の様子を話す保護者さん

1月中旬から2月にかけて、保護者の方々との個別面談を行いました。施設やご家庭の様子を情報共有し、施設への要望や意見等もお聞きし、今後の支援に向け有意義な面談となりました。

編集後記 令和4年度の年度末を迎えました。振り返ると今年度も新型コロナウイルス感染症予防のため、事業計画が大幅に縮小、行事が中止や変更、施設の休業など、利用者さんにとって我慢の年となりました▼節分の集いに際し、すし竹様から今年もお寿司をいただきました。毎年利用者さんたちは楽しみにしており、美味しくいただくことができました。改めてすし竹様に御礼を申し上げます▼現在、新年度に向け事業計画案と予算案の編成が大詰めで、厳しい財政の中、充実した生活介護支援活動ができるよう作業を進めています。事業と予算は今月開く理事会、評議員会で議決を受けることになっています▼中瀬町町内会の皆様には会員に加えていただき、ありがとうございました。会長さんと班長さんには当所広報を配付いただき御礼申し上げます。皆様、新年度もどうぞよろしくお願ひします▼結びに、令和4年度だての郷通信ひびきを1年間お読みいただきありがとうございました。施設と保護者の皆様をつなぐ架け橋として、引き続きよろしくお願ひいたします。(M)